

大澤 毅 准教授
(独立PI)



東京大学先端科学技術研究センター
ニュートリオミクス・腫瘍学分野

■ 日時： 令和6年 9月 26日 木 17:00~18:30

■ 場所： 徳島大学歯学部 1F 101講義室

タイトル： ニュートリオミクスから迫る
がん悪性化機構の解明と治療戦略

がんの病態解明には、核酸、糖質、脂質、タンパク質などの複雑な有機化合物の全体像いわゆるマルチオミクスを統合し理解することが必須である。近年、次世代シーケンサー、質量分析器の普及により、ゲノム配列、転写、翻訳、代謝、タンパク質複合体など、がん細胞が網羅的にまた1細胞/オルガネラレベルで解析されており、メガデータを取り扱わなければがんの病態解明が難しい時代を迎えている。我々は、ニュートリオミクスを用いたがん栄養・代謝の新しいオミクス統合解析から病態へ繋がる細胞の不可逆的な変化を捉え、がんの新しい治療法につながる代謝経路を見出している。本セミナーでは、アミノ酸などの代謝物を中心とした各種のオミックス及び情報解析から捉えた新たながん研究の最近の知見を共有する場としたい。